

特集 ■ 装具—最先端と臨床

装具は、リハビリテーション医療の重要な治療手段です。脳卒中や関節リウマチの急性期、高齢者の膝関節症、膝前十字靱帯の損傷後、小児など、さまざまな臨床場面で、的確にすばやく装具療法の導入が行われることが、障害の改善・進行予防・疼痛と炎症の緩和・ADL改善に有用です。患者と第一線で接するさまざまな職種の方が、代表的な装具の進歩についての知識をもてるよう、具体的なポイントをご解説いただきました。

装具マネージメントの実際（浅見豊子氏，1277 頁）

装具療法はチーム医療であり、処方責任をもつ医師をはじめ、義肢装具士・理学療法士・作業療法士・看護師・介護保険関連職種がそれぞれの専門性を生かして関わる。作製時の適合チェックだけでなく、装具を利用しての生活の指導やサポートが必要である。また耐用年数を考慮し、本人からの問題提起がなくても、再評価を行うべきである。

脳卒中の下肢装具（大田哲生氏，1285 頁）

脳卒中片麻痺の発症早期から長下肢装具で訓練を行うことは、早期の立位・歩行の開始に有用である。長下肢装具の膝継手には、リングロック・3way 膝継手・ステップロックなどがあり、目的に合わせて使い分ける。短下肢装具には、近年、Gait Solution® や TAPS® が開発されており、機能面や運動学習の面から優れていることが示されている。また Robotic leg orthosis にも期待がもたれている。

関節リウマチ（仲野春樹氏ら，1291 頁）

関節リウマチに対する装具療法には、疼痛の軽減、関節機能の代償、変形の進行予防の目的がある。スワンネック変形やボタン穴変形にはリングスプリント、手関節には固定装具を用いる。下肢には、測定板や靴型装具が、上位頸椎関節には頸椎カラーが処方される。関節変形が進行するまでの windows of opportunity に、生物学的製剤の導入とともに適切な装具療法を行うためには、関節リウマチ担当診療科とリハビリテーション科の連携が大切である。

変形性膝関節症・膝前十字靱帯損傷に対する膝装具（新井祐志氏ら，1297 頁）

変形性膝関節症に対しては、unloader brace、外側楔状足底板、軟性膝装具があり、それぞれの効果、価格・コンプライアンスなども考慮して総合的に検討するべきである。膝前十字靱帯損傷は保存療法では膝前十字靱帯機能不全が生じる可能性が高く、スポーツ実施のためには再建術が行われる。機能不全症例に対する膝関節の制御目的や、再建術後のリハビリテーション時期に機能的膝装具が用いられている。

小児の装具—脳性麻痺を中心に（間川博之氏ら，1303 頁）

小児装具の特殊性としては、成長に伴う身体寸法の変化、変形の進行、コンプライアンスの問題などがある。脳性麻痺の下肢装具には、ストレッチ効果と立位・歩行を安定させる効果が期待されており、身体構造への影響と機能の補助の二つの側面があるが、さらに、装具による自由度制約が運動課題の難易度を下げることによって運動学習を容易にする。子どもの痙縮や筋短縮の程度と関節可動域を評価し、歩行分析を十分に行って、どのようなタイプが適するかを判断する必要がある。

ニュース

災害弱者の情報共有、携帯電話で容易に閲覧… 1320 「ノーマライゼーション 障害者の福祉」2012 年 8 月号特集目次… 1333 日本に笑顔届けたい、パラリンピック結団式… 1334 省庁のホームページ、障害者への配慮不足… 1334 精神障害者の就職件数、10 年で 10 倍… 1361 ロンドンパラリンピック、いよいよ幕開け… 1362 パラリンピック、笑顔はじける金… 1366 介護利用者 517 万人—2011 年度、最多更新… 1366

お知らせ

第 25 回日本肘関節学会学術集会… 1343 第 2 回がんのリハビリテーション懇話会… 1357 第 4 回 FIM 講習会 in 倉敷… 1362